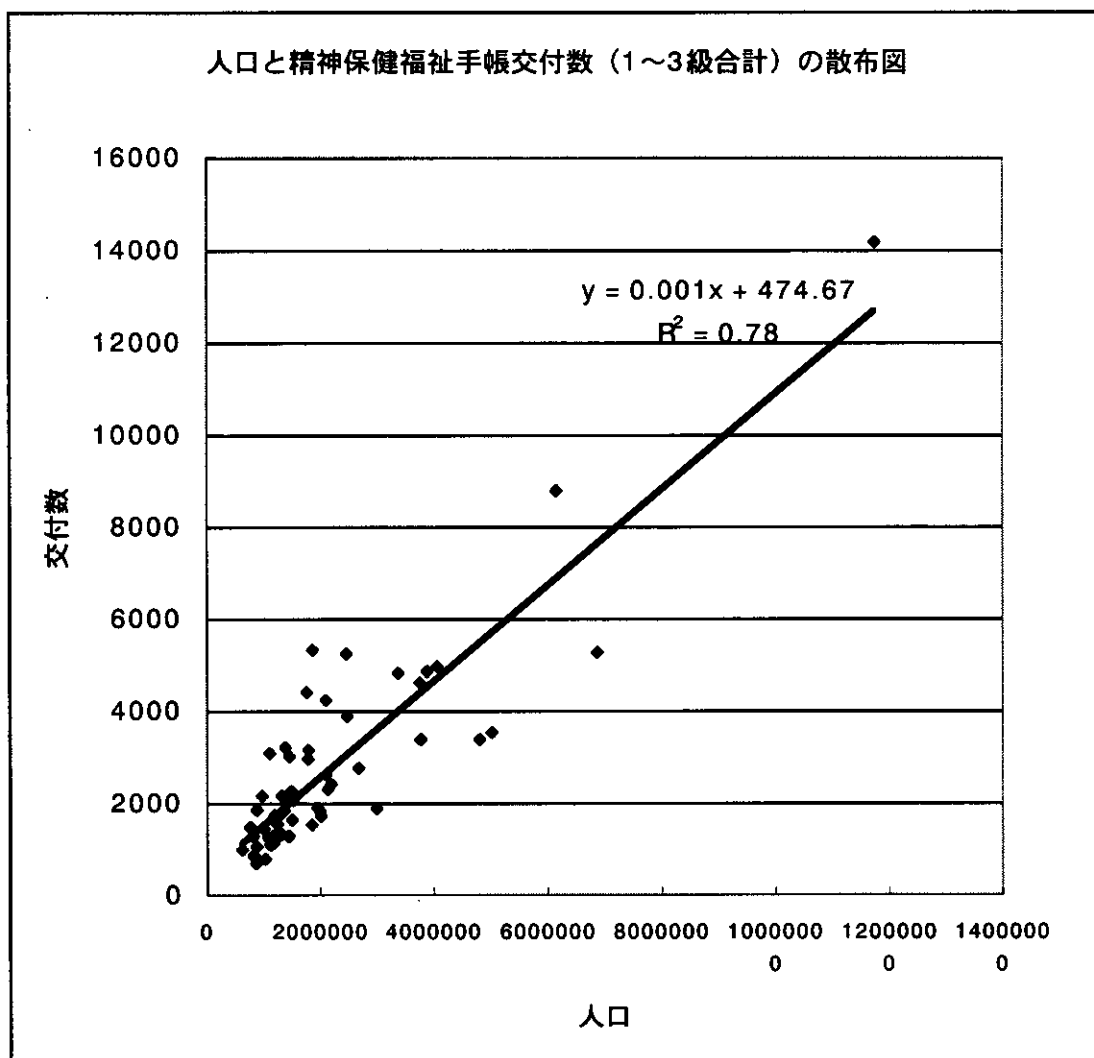




図 14



平成 12 年度厚生科学研究費補助金(障害保健福祉総合研究事業)  
精神病院・社会復帰施設の評価及び情報提供のあり方に関する研究

研究協力報告書  
精神保健福祉資料と主要な統計資料との比較

研究協力者 佐名手三恵 (国立精神・神経センター精神保健研究所)  
三宅 由子 (国立精神・神経センター精神保健研究所)  
主任研究者 竹島 正 (国立精神・神経センター精神保健研究所)

要旨 本研究では、厚生労働省が毎年 6 月 30 日付けで実施している全国の精神病院、精神科デイケア施設等の状況調査(6 月 30 日調査)について、その特徴を明らかにすることを目的として、当該調査と主要な統計資料との比較検討を行った。その結果、6 月 30 日調査は医療施設調査、病院報告、患者調査と比較して、精神病床を有する病院に関して、施設の設備や運営と入院患者の動態に関するデータの両方を有する点において特徴的であった。また 6 月 30 日調査は、衛生行政業務報告、社会福祉施設等調査報告、地域保健・老人保健事業報告と比較して、より包括的な資料となっていた。

#### A. 研究目的

厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部精神保健福祉課では、毎年 6 月 30 日付けで、精神保健福祉課長から都道府県・政令指定都市の精神保健福祉主管部(局)長に「精神保健福祉資料の作成について」という文書依頼を行い、全国の精神病院等の状況についての資料を得ている(以下 6 月 30 日調査という)。この資料収集は精神保健福祉課の業務の参考とすることを目的としており、全国の精神病院の協力によって継続され、我が国の精神保健福祉に関する貴重な資料となっている。

本報告では 6 月 30 日調査を厚生労働省発行の主な既存統計資料と比較することにより、当該調査の特徴を明らかにすることを目的とする。

#### B. 対象と方法

本研究では 6 月 30 日調査の調査項目と統計表を精神保健福祉に関する主要な 6 種類の統計資料の調査項目及び統計表と比較検討を行った。今回比較した統計資料は、医療施設調査、病院報告、患者調査、衛生行政業務報告、社会福祉施設等調査報告、地域保健・老人保健事業報告である。資料については、全て厚生労働省大臣官房統計

情報部から編集・発行されている報告書を使用し、病院報告は平成 8 年度版、それ以外は平成 11 年度版を使用した。

一方 6 月 30 日調査は平成 12 年度のものを使用した。また 6 月 30 日調査以外の調査は、精神病床または精神病院を区別出来る統計表のみを対象とした。ただし患者調査については調査票も対象に含めた。

6 月 30 日調査は医療施設のみならず、社会復帰施設等も含む調査である。まず医療施設に関して得られるデータについて 6 月 30 日調査と医療施設調査、病院報告、患者調査を比較検討した。次に社会復帰施設、地域精神保健福祉活動等に関して得られるデータについて、6 月 30 日調査と衛生行政業務報告、社会福祉施設等調査報告、地域保健・老人保健事業報告を比較検討した。

今回比較した統計資料の概要を、表 1、表 2 に示した。6 月 30 日調査が調査対象に診療所を含まないのに対し、医療施設調査、病院報告、患者調査は診療所を調査対象に含む。また患者調査は標本調査である。

入院、在院の用語について、6 月 30 日調査、医療施設調査、病院報告、患者調査では各々異なるため、本報告では新入院を調査日あるいは期間内に新たに入院した患者数、在院を調査日に入院している患者数と

定義した。これにより 6 月 30 日調査の入院は新入院，患者調査の入院は，「在院」（新入院に繰越入院を加えたもの）と置き換えて記すこととした。

## C. 結果

### 1. 6 月 30 日調査と医療施設調査，病院報告，患者調査との比較

#### 1) 6 月 30 日調査のみに含まれる項目

6 月 30 日調査のみに含まれ，他の資料には含まれない項目は，施設関連項目から患者関連項目まで多様である（表 3-1）。施設や職員等については指定病院，応急入院指定病院，精神科専門病棟，保護室，指定医，精神保健福祉士数，看護体制の取得状況，精神科デイケア実施状況など精神病院に特徴的な施設や運営体制を示す項目がある。また患者に関しては，在院／新入院／退院患者／残留患者について運営形態×入院形態×疾患名×年齢階級など患者に附帯する属性と施設に附帯する属性のクロス集計のほか，新入院患者の入院後 1 年間の動態，痴呆性疾患病棟患者の入退院の状況，応急入院患者及び任意入院患者に関する項目がある。

#### 2) 6 月 30 日調査と共通する項目，6 月 30 日調査には含まれない項目

6 月 30 日調査のデータは精神病床を有する全ての病院を含むのに対し，医療施設調査，病院報告，患者調査の統計表から得られるデータのほとんどは，精神病床のみを有する単科病院に限られる。

##### ①医療施設調査

6 月 30 日調査と医療施設調査に共通するデータは，開設者，精神病床数，救急医療参加病院数，開放病床を有する病院数，老人性痴呆疾患型療養病棟を有する病院数，職員数，勤務体制，看護体制，訪問看護実施件数，デイケア等利用者数，デイケア病院数，在院患者数，外来患者数である。また精神科デイケア等に関しては，医療施設調査がデイケアや精神科作業療法の施設を

有する病院数であるのに対し，6 月 30 日調査は精神科デイケア等の実施病院数である。なお 6 月 30 日調査では，精神科デイケアに関しては，診療所，精神保健福祉センター，保健所を含めた全実施施設のデータがある。

6 月 30 日調査には含まれず医療施設調査に含まれる項目としては，病床規模別病院数や病室の種類，診療科目，新外来患者数などがあり，また診療所に関して主たる診療科目別診療所数，精神科単科の診療所数がある（表 3-2）。

##### ②6 月 30 日調査と病院報告との比較

6 月 30 日調査と病院報告に共通するデータは，開設者，精神病床数，職種別従事者数（病院報告には臨床心理技術者数はない），在院患者数，新入院患者数，退院患者数，外来患者数である。

6 月 30 日調査には含まれず医療施設調査に含まれる項目としては，病床の規模，病床利用率，1 日平均の在院／新入院／退院／外来患者数，患者数の月別推移，平均在院日数などがある（表 3-2）。

##### ③患者調査との比較

6 月 30 日調査と患者調査に共通のデータは，疾患名／年齢階級／男女別の在院患者数と退院患者数，退院時の状況／在院期間別退院患者数，外来患者数であった。ただし患者調査は標本調査のため，データは推計値である。また，疾患名の分類について，両者とも ICD-10 のコード分類を用いているが，6 月 30 日調査が F0~F9 にてんかん，その他を加えた 12 分類であるのに対し，患者調査では 3 分類（「精神分裂病，分裂病型障害及び妄想性障害」「気分＜感情＞障害」「神経症性障害，ストレス関連障害及び身体表現性障害」）または 8 分類（「血管性及び詳細不明の痴呆」「アルコール使用＜飲酒＞による精神及び行動の傷害」「その他の精神作用物質使用による精神及び行動の障害」「精神分裂病，分裂病型障害

及び妄想性障害」「気分＜感情＞障害」「神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害」「精神遅滞」「その他の精神及び行動の障害」) である。

6月30日調査には含まれず患者調査に含まれるものとしては、新入院／繰越入院別入院年月日、初診／再来別前回診療月日、退院年月日、診療科、紹介の有無、入院の状況、介助の状況、入院前の場所、転帰、がある(表3-2)。

表3-3は6月30日調査に含まれる項目が、医療施設調査、病院報告、患者調査にどの程度含まれるかを示したものである。6月30日調査は施設と患者に関する包括的なデータとなっている。

## 2. 6月30日調査と衛生行政業務報告、社会福祉施設等調査報告、地域保健・老人保健事業報告との比較

### 1) 6月30日調査のみに含まれる項目

6月30日調査のみに含まれ、他の資料には含まれない項目は、精神科デイケア実施状況、社会復帰施設、精神医療審査会の審査状況、保健所及び精神保健福祉センターの状況、措置入院及び医療保護入院等の状況など多様である(表4-1)。精神科デイケアについては、6月30日調査には病院、診療所、精神保健福祉センター、保健所等を含めた精神科デイケア実施施設全体の状況に関するデータがある。社会復帰施設については、グループホームと地域生活支援センターを含む社会福祉事業法に基づく届出のある全国全ての精神障害者社会復帰施設等の状況に関するデータがある。また措置入院、医療保護入院等の状況については、通報から診察、移送、警察の臨場／同行、搬送、医療行為に至るまでの流れに沿ったデータがある他、緊急措置入院についてのデータがある。

### 2) 6月30日調査と共通する項目、6月30日調査には含まれない項目

### ① 衛生行政業務報告

6月30日調査と衛生行政業務報告に共通のデータは、精神医療審査会の審査状況について退院請求件数、処遇改善請求件数、精神保健福祉法第23条から第26条の2の別に申請又は通報届出件数、措置診察不要件数、措置入院(該当)件数、医療保護入院件数、精神保健福祉手帳の等級別交付数(所持者数)、通院医療公費負担の申請件数、交付決定(承認)数などがある。精神科デイケア実施施設等の状況や職員に関するデータは両者にあるが、衛生行政業務報告では精神保健福祉センターに関するデータに限られる。

6月30日調査には含まれず衛生行政業務報告のみに含まれる項目は表4-2に示すように、精神医療審査会の審査状況の他、措置入院、医療保護入院、応急入院、精神保健福祉手帳、通院医療費公費負担制度などに関して都道府県等への届出を要する項目である。その他に精神保健福祉センターの運営、活動状況に関する項目がある。

### ② 社会福祉施設等調査報告

6月30日調査と社会福祉施設等調査報告に共通のデータは、精神障害者社会復帰施設等の状況に関するものであるが、社会福祉施設等調査報告では精神保健福祉法による精神障害者社会復帰施設(生活訓練施設、福祉ホーム、入所授産施設、通所授産施設、福祉工場)の状況に限られ、グループホームは含まれない。設置者、経営者、施設の種類、定員数、職員数は両資料に共通の項目であり、利用者数については、6月30日調査が年齢階級別利用実人員、社会福祉施設等調査報告が年齢階級別在所者数である。

6月30日調査には含まれず社会福祉施設等調査報告のみに含まれる項目は、社会復帰施設等の被措置者／措置以外の者別在所者数である(表4-2)。

### ③ 地域保健・老人保健事業報告

6月30日調査と地域保健・老人保健事業報告に共通のデータは、精神保健福祉手帳の所持者数である。精神科デイケア実施施設等の状況や職員に関するデータは両者にあるが、地域保健・老人保健事業報告では保健所に関するデータに限られる。

6月30日調査には含まれず地域保健・老人保健事業報告のみに含まれる項目は、保健所の運営、活動状況に関する項目である。(表4-2)。

表4-3は6月30日調査に含まれる項目が、衛生行政業務報告、社会福祉施設等調査報告、地域保健・老人保健事業報告にどの程度含まれるかを示したものである。共通するデータは、精神保健福祉手帳の交付状況と通院医療費公費負担の申請・交付件数のみであり、他の6月30日調査の多くの項目については他の資料では得られないものが多い。

#### D. 考察

6月30日調査と医療施設調査、病院報告、患者調査の比較の結果、6月30日調査は、精神病床占有割合、指定病院、精神科救急、精神科専門病棟、病棟の開放・閉鎖形態、保護室等の状況、職員や看護体制、訪問看護や精神科デイケア実施状況、在院／新入院／退院／残留患者の各々について疾患名、年齢、入院形態等の施設及び患者の様々な属性についてのクロス集計、外来患者数、入院患者の入院後1年間の動態、痴呆性疾患専門病棟の状況、応急入院の状況、任意入院の状況などに及ぶ、包括的な資料であることがわかった。特に指定病院、応急入院、精神科専門病棟、保護室、任意入院、入院形態別患者数等、精神病床を有する病院に固有な項目が含まれること及び入院患者の動態が把握できることは、精神保健福祉に関する資料として、他の資料とは大きく異なる点であろう。

一方、6月30日調査以外の調査はその調査対象に診療所を含むにもかかわらず、診

療科目別の病院数等が示されるのみで、診療所に関するデータはほとんど示されていない。精神保健福祉資料として、診療所に関するデータを今後どのように収集していくかについては、今後の検討が必要であろう。

6月30日調査と衛生行政業務報告、社会福祉施設等調査報告、地域保健・老人保健事業報告との比較の結果、6月30日調査は、全国全ての精神科デイケア実施施設の状況、グループホームと地域生活支援センターを含めた社会復帰施設等の状況や利用前や退所後の状況別の新規利用者数や退所者数、精神医療審査会の審査状況について入院形態／請求者別の退院または処遇改善請求の状況、措置入院や緊急措置入院、医療保護入院の審査や調査段階から移送や搬送時の状況などに及ぶ詳細なデータを含んだ資料であり、包括的な資料であることがわかった。

6月30日調査が既存統計資料にはない精神保健福祉に関する包括的なデータを含んだ資料であることは明らかであり、今後の精神保健福祉施策を進めて行く上での中核的な資料として、広く共有されていくことが望まれる。

#### E. 資料

1. 厚生省大臣官房統計情報部：医療施設調査（静態調査、動態調査）、病院報告、平成11年。
2. 厚生省大臣官房統計情報部：患者調査、平成8年。
3. 厚生省大臣官房統計情報部：衛生行政業務報告(厚生省報告例)、平成11年度。
4. 厚生省大臣官房統計情報部：社会福祉施設等調査報告、平成11年。
5. 厚生省大臣官房統計情報部：地域保健・老人保健事業報告（地域保健編）、平成11年度。

表 1. 6月30日調査、医療施設調査、病院報告、患者調査の概要、用語の定義等

	【0】6月30日調査（平成13年度）	【1】医療施設調査（平成11年度）	【2】病院報告（平成11年度）	【3】患者調査（平成8年度）
目的	全国の精神病床を有する病院、精神科デイケア施設、社会復帰施設等の状況の把握によって、精神保健福祉行政の基礎資料を得ること	全国の医療施設（病院・診療所）の分布及び整備の実態を明らかにするとともに、医療施設の診療機能を把握し、医療行政の基礎資料を得ること 「医療施設静態調査」と「医療施設動態調査」がある	全国の病院、療養型病床を有する診療所における患者の利用状況及び従事者の状況を把握し、医療行政の基礎資料を得ること	医療施設（病院・診療所）の利用患者について、傷病状況等の実態を明らかにし、医療行政の基礎資料を得ること
対象、客体	対象、客体：全国の精神病床を有する病院、精神科デイケア施設、社会復帰施設等	対象、客体：「医療施設静態調査」は全国の医療施設（病院・診療所）、「医療施設動態調査」は開設、廃止等のある医療施設	対象、客体：全国の病院、療養型病床を有する診療所	対象：全国の医療施設（病院・診療所）を利用する患者 客体：病院の入院は二次医療圏別、病院の外来及び診療所は都道府県別に無層化抽出した医療施設を利用した患者
調査の種類	全数調査	全数調査	全数調査	標本調査
実施時期等	年1回（6月30日現在）で実施	「医療施設静態調査」：3年に1回（10月1日現在）で実施 「医療施設動態調査」：毎年10月1日から1年間で実施	「患者票」：毎月報告（1月1日～12月31日） 「従事者票」：病院のみ年1回（10月1日現在）報告	3年に1回で「医療施設静態調査」と同時期に実施 10月の3日間のうち、医療機関が指定した1日について回答（ただし、退院患者については9月1ヶ月間）
対象期間	新入院（6.30調査では入院）	6月1ヶ月間	各月1ヶ月間	10月3日間のうち指定された1日
	在院	6月30日現在	月末時点	10月3日間のうち指定された1日
	退院	原則として6月1ヶ月間	各月1ヶ月間	9月1ヶ月間
	外来	6月1ヶ月間	各月1ヶ月間	10月3日間のうち指定された1日

調査票の記入者	個票は各施設の担当者、総括票は都道府県等の担当者	「医療施設静態調査」は医療施設の管理者、「医療施設動態調査」は開設・廃止等の申請・届出から、都道府県知事等が作成	病院・診療所の管理者	医療施設の管理者
都道府県別統計等の有無	全国、都道府県別統計あり	全国、都道府県別統計あり	全国、都道府県別統計あり	全国、都道府県別、二次医療圏別統計あり
精神病院	精神病床のみを有する病院	精神病床のみを有する病院	精神病床のみを有する病院	精神病床のみを有する病院
入院患者	新たに入院した患者（入院してその月のうちに退院した患者も含む）	非使用	非使用	新入院に繰越入院を加えたもの 繰越入院：調査日以前から引き続き入院している患者（当日死亡した者及び退院した者を含む）
新入院患者	非使用	新たに入院した患者（入院してその日に退院した患者を含む）	新たに入院した患者（入院してその日に退院した患者を含む）	調査日に新たに入院した患者（入院当日に死亡した者、退院した者を含む）
在院患者	調査日に病院に在院中の患者	毎日 24 時現在、病院に在院中の患者	毎日 24 時現在、病院に在院中の患者	非使用
退院患者	新たに入院した患者・退院した患者をいい、入院してその月のうちに退院した患者も含む → 本報告では新入院患者と示す	新たに退院した患者（退院してその日に退院した患者を含む）	新たに退院した患者（退院してその日に退院した患者を含む）	定義の記載なし
外来患者		新規・再来・往診・巡回診療患者すべてをいう	新規・再来・往診・巡回診療患者すべてをいう	初診と再来（調査日に再診した患者）を加えたもの

用語の定義



表2. 6月30日調査、衛生行政業務報告、社会福祉施設等調査報告、地域保健・老人保健事業報告の概要

	【0】6月30日調査(平成13年度)	【4】衛生行政業務報告(厚生省報告例)(平成11年度)	【5】社会福祉施設等調査報告(平成11年度)	【6】地域保健・老人保健事業報告(平成11年度)
目的	全国の精神病床を有する病院、精神科デイケア施設、社会復帰施設等の状況の把握によって、精神保健福祉行政の基礎資料を得ること	各都道府県・指定都市・中核市における衛生行政の実態を把握し、国及び公共団体の衛生行政運営のための基礎資料を得ること	全国の社会福祉施設等を対象に、施設の数、所在者、従事者等の状況等を把握し、社会福祉行政推進のための基礎資料を得るとともに、社会福祉施設等名簿を作成すること	地域住民の健康の保持及び増進を目的とした地域の特性に応じた保健施策の展開等を実施主体ごとに把握することにより、地域保健対策の効率・効果的な推進のための基礎資料を得ること
対象、客体	対象、客体：全国の精神病床を有する病院、精神科デイケア施設、社会復帰施設等	対象、客体：都道府県・指定都市・中核市	対象、客体：施設票は全国の社会福祉施設等(87種類) *他に老人福祉施設等の入所者について、入居者票による調査がある。	対象：全国の保健所及び市町村
調査・報告の種類	全数調査	全数調査	施設票については全数調査	全数調査
実施時期等	年1回(6月30日現在)で実施	年度報、隔年報(2年毎)の各々の様式により、年度中・年度末又は年末現在の状況について報告	年1回(10月1日現在)で実施	年度報を各々の様式により、年度中又は年度末現在の状況について報告
調査票の記入者	個票は各施設の担当者、総括票は都道府県等の担当者	都道府県知事、指定都市市長、中核市市長	施設票は施設管理者が記入	保健所長

表 3-1. 6 月 30 日調査に含まれ、医療施設調査、病院報告、患者調査には含まれない医療施設に関する統計

病棟・施設	精神病床	精神病床の占有割合別病院数,
	指定病院	指定病院数, 指定病床数
	応急入院指定病院	応急入院指定病院数
	精神科専門病棟, 病床	専門病棟別病棟数/病床数
	開放・閉鎖の別	開放・閉鎖形態別(夜間外開放/個別開放/終日閉鎖)病棟数/病床数/電話設置病棟数/電話設置病床数
	保護室数, 施錠できる部屋数, 保護室利用者数	開放・閉鎖形態別保護室数/施錠できる部屋数, モニター/トイレ設置別保護室数/施錠できる部屋数, 保護室利用者数
職員等	医師数, 指定医数, 精神保健福祉士等	臨床心理技術者数を含めた常勤/非常勤の職種別従事者数, 指定医数, 精神保健福祉士有資格者数,
	看護体制の取得状況	看護体制等の取得状況別病床数
精神科デイケアの実施状況		デイケア実施病院/未実施病院の退院/残留/新入院/外来患者数, デイケア実施病院/未実施病院の訪問看護実施件数, デイケア実施種別病院数
患者	在院患者数	運営形態(指定病院, 非指定病院, 国立, 大学, 都道府県立)×疾患名×年齢階級×入院形態×病棟の開放・閉鎖形態×在院期間×男女別の在院患者数
	新入院患者の動態	新入院患者の入院後1年間の動態(月別退院患者数と1年後の残留患者数)
	新入院患者数	運営形態(指定病院, 非指定病院, 国立, 大学, 都道府県立)×疾患名×年齢階級×入院形態別の新入院患者数
	退院患者数	運営形態(指定病院, 非指定病院, 国立, 大学, 都道府県立)×疾患名×年齢階級×在院期間×退院時の状況×デイケア実施・未実施別の退院患者数
	残留患者数	運営形態(指定病院, 非指定病院, 国立, 大学, 都道府県立)×疾患名×年齢階級×入院形態別の残留患者数
	痴呆性疾患病棟の患者数等	運営形態×専門病棟(療養型/治療型)×在院期間別の在院患者数, 運営形態×専門病棟別の新入院患者数, 退院時の状況別退院患者数
	応急入院患者数等	運営形態×疾患名×年齢階級×男女別×応急入院後の状況別の応急入院患者数
	任意入院患者数等	開放処遇の状況×病棟の開放・閉鎖形態×運営形態別の任意入院患者数

\* 上表は既発行統計資料の統計表による。

表 3-2. 6 月 30 日調査には含まれない医療施設調査, 病院報告, 患者調査の統計

<p>【1】医療施設調査</p>	<p>1 病床当たりの面積, 病床規模, 建物の面積の規模, 建物の部門, 病室の種類, 併設施設, 診療科目, 各種委員会, 土曜日の表示診療時間, 予約診療, 在宅医療, 在宅療養機器, 夕食の開始時間, 複数メニュー, (業務)委託, 診療録管理専任従事者, オーダリングシステム, 診療情報の把握の種類, 傷病分類化, ICD コード, 情報の提供, 情報通信機器, 情報提供先, 週休状況, 院内保育サービス, 院外処方箋, 医薬品情報の提供管理, 病棟看護婦の勤務体制と準夜・深夜・夜勤, 新外来患者数, 主たる診療科目別診療所数, 精神科単科の診療所数</p>
<p>【2】病院報告</p>	<p>1 日平均の在院/新入院/退院/外来患者数, 患者数の月次推移, 病床規模, 病床利用率, 平均在院日数, 100 床当たり従事者数</p>
<p>【3】患者調査 (個票の項目)</p>	<p>新入院/繰越入院別入院年月日, 初診 (通院, 往診)/再来 (通院, 往診, 訪問診療, 医師以外の訪問) 別前回診療月日, 退院年月日, 診療科, 紹介の有無, 入院の状況, 介助の状況, 入院前の場所, 転帰</p>

表 3-3. 6月30日調査の項目を基本とする

医療施設調査, 病院報告, 患者調査との比較

○=精神病床を有する全病院について, 項目に関するデータが全てある

●=項目に関するデータが全てあるが精神病床のみを有する病院に限られる

△=項目に関するデータが一部ある

×=項目に関するデータが全くない

		【0】 6月30日調査	【1】 医療施設調査	【2】 病院報告	【3】 患者調査
病棟, 施設等	開設者	○	○	○	×
	全精神病床数	○	△	△	×
	指定病院	○	×	×	×
	応急入院指定病院	○	×	×	×
	精神科救急医療参加病院	○	●	×	×
	精神科等専門病棟, 病床	○	△	×	×
	開放・閉鎖の別	○	△	×	×
	保護室数, 施錠できる部屋, 保護室 利用者数	○	×	×	×
職員等	医師数, 指定医数, 看護職員, コメ ディカルスタッフ, 精神保健福祉士	○	△	△	×
	看護体制等の取得状況	○	△	×	×
訪問看護実施件数		○	●	×	×
精神科デイケアの実施状況		○	△	×	×
患者等	在院患者数 (疾患名, 入院形態, 在 院期間, 年齢階級, 性別)	○	△	△	△
	新入院患者の動態	○	×	×	×
	新入院患者数 (疾患名, 入院形態, 年齢階級別)	○	×	△	× <sup>1</sup>
	退院患者数 (疾患名, 在院期間, 年 齢階級, 退院時の状況別)	○	×	△	○ <sup>2</sup>
	外来患者数	○	●	●	●
	残留患者数 (疾患名, 入院形態, 年 齢階級別)	○	×	×	×
	痴呆性疾患専門病棟の患者数等	○	×	×	×
	応急入院患者数等	○	×	×	×
	任意入院患者数等	○	×	×	×

\* 上表は既発行統計資料の統計表による。

<sup>1</sup> 患者調査では入院は新入院に繰越入院を加えたものを示すため, この表では在院として捉えた。

<sup>2</sup> 患者調査のみ, 退院後の転帰, 入院前の場所に関するデータがある。

表 4-1. 6月30日調査に含まれ、衛生行政業務報告、社会福祉施設等調査報告、  
地域保健・老人保健事業報告には含まれない統計

精神科デイケア実施状況	設置者（単科精神病院／一般病院精神科／精神科診療所／精神保健福祉センター／その他）／デイケア種別／社会復帰施設等種別の施設基準承認数／延人員／実人員／実施日数，利用者のうち社会復帰施設等の利用実人員，新規利用者数
精神障害者社会復帰施設等	施設種別，生活支援センターの活動内容（登録者数，電話相談数，面接相談数，訪問相談数，地域交流活動数），運営日数，新規利用者数，利用前の状況別新規利用者数，退所者数，退所後の状況別退所者数，延利用者数，授産施設及び福祉工場の授産科目，
精神医療審査会の審査状況	請求者別の退院等請求者数／処遇改善請求者数，措置入院／医療保護入院／任意入院者別の退院等請求／処遇改善請求件数，精神医療審査会委員氏名，所属
都道府県内，指定都市内のすべての保健所，全精神保健福祉センターについて	精神保健福祉業務に従事の有無／専門分野（心理／社会福祉）別精神保健福祉相談員数，精神保健福祉相談員資格取得講習会参加者数，
措置入院，医療保護入院等の状況	措置入院の通報，措置診察の要・不要，移送，措置診察後の処遇，警察の臨場／同行，搬送，医療行為等，緊急措置入院の診察，診察結果，緊急措置入院後の処遇，医療保護入院について調査件数，指定医診察，警察の臨場／同行，搬送，医療行為の実施

表 4-2. 6月30日調査には含まれない衛生行政業務報告, 社会福祉施設等調査報告,  
地域保健・老人保健事業報告の統計

<p>【4】衛生行政業務報告</p>	<p>精神保健福祉センターの男女別デイケア利用人員, 精神医療審査会の審査状況 (審査結果別の退院請求件数/処遇改善請求件数/医療保護入院時の届出件数, 入院中の定期報告について医療保護入院と措置入院の審査結果別審査件数), 前年度末/本年度中新規/本年度中解除/本年度末別措置入院患者数, 前年度末/本年度末仮退院患者数, 保護者の同意/扶養義務者の同意別医療保護入院届出数, 医療保護入院者の退院届出数, 応急入院届出数, 精神保健福祉手帳の交付状況 (年度中新規交付/転入/転出/返還/障害等級変更等別件数), 被保険者の医療保険種別通院医療費公費負担の申請/合格/承認件数, 精神保健福祉センターの活動状況</p>
<p>【5】社会福祉施設等調査報告,</p>	<p>社会復帰施設等の被措置者/措置以外の者別在所者数,</p>
<p>【6】地域保健・老人保健事業報告</p>	<p>保健所の男女別デイケア利用人員, 精神保健福祉手帳の男女×年齢階層別所持者数, 保健所の活動状況</p>

表 4-3. 6月30日調査の項目を基本とする衛生行政業務報告,  
社会福祉施設等調査報告, 地域保健・老人保健事業報告の比較

○=項目に関するデータが全てある

△=項目に関するデータが一部ある

×=項目に関するデータが全くない

	【0】 6月30日調査	【4】 衛生行政業務報告	【5】 社会福祉施設等調査報告	【6】 地域保健・老人保健事業報告
精神科デイケア実施状況（設置者，デイケア種別，利用実人員，延べ人数，新規利用者数，実施日数，利用者のうち社会復帰施設等の利用実人員）	○ <sup>1</sup>	△	×	△
精神障害者社会復帰施設等（運営者，設置者，施設種別，生活支援センターの活動内容，利用者数，退所者数，運営日数，利用前の状況，退所後の状況，職員等）	○	×	△	×
精神医療審査会の審査状況（請求者別退院／処遇改善請求者人数，入院形態別退院／処遇改善請求件数）	○	△	×	×
都道府県内，指定都市内の全保健所，全精神保健福祉センターの職員の職種別人数等	○	△	×	△
措置入院，医療保護入院等の状況（通報届出，診察，移送，警察の臨場，警察の同行，搬送，医療行為等，緊急措置入院）	○	△	×	×
精神保健福祉手帳の交付状況（等級別）	○	○	×	△
通院医療費公費負担の申請，交付件数	○	○	×	×

\*上表は既発行統計資料の統計表による。

<sup>1</sup> 6月30日調査では，病院，診療所，精神保健福祉センター等の全国のデイケア実施施設を対象としている。

参考資料1. 6月30日調査, 医療施設調査, 病院報告, 患者調査の比較 (詳細版)

注1: [精神病院のみ] と記載のないものは「精神病床」と記載するデータである。注2: 当該資料では6月30日調査にない項目については示していない。表3-2を参照のこと

	【0】6月30日調査 平成12年度 *入院患者→本報告では新入院患者と示す	【1】医療施設調査 平成11年度	【2】病院報告 平成11年度	【3】患者調査 平成8年度 *入院→本報告では入院(「在院」)と示す。
都道府県コード, 二次医療圏コード, 施設コード	都道府県コード, 施設コード	市町村符号, 保健所符号, 施設名, 所在地	都道府県名, 保健所符号, 保健所名, 施設名, 所在地	患者の男女別, 出生年月日, 患者の住所
開設者別	○<<大学病院>><<国立病院>><<都道府県立病院>><<その他の公立病院>><<法人病院>><<個人病院>>に分類	○開設者別に分類	○開設者別に分類	
精神病床占有割合, 精神病床数	○<<単科病院>><<一般病院で精神病床の割合が80%以上>><<一般病院で精神病床の割合が80%未満>>に分類 ○精神病床数	○精神病床数	○精神病床数 ○病床利用率	
指定病院	○指定病院数			
指定病床数	○指定病床数			
応急入院指定病院数	○応急入院指定病院数			
救急医療施設	○精神科救急医療施設数	[精神病院のみ] ○救急医療体制参加病院数, 救急告示病院数		



	<p>専門病棟等の 病棟数、病床数</p>	<p>○＜急性期1＞＜急性期2＞＜老人性痴呆疾患治療＞ ＜老人性痴呆患療養＞＜精神療養1＞＜＜＜精神療養2＞＞ ＜老人精神＞＜アルコール＞＜薬物＞＜＜＜アルコー ル・薬物混合＞＜＜＜児童思春期＞＜＜合併症＞の病棟数、病 床数</p>	<p>[精神病院のみ] ○特殊疾患入院施設又は特殊 疾患療養病棟、緩和ケア病棟、 老人病棟入院医療管理科病棟、 老人性痴呆疾患療養病棟を有 する病院数</p>		
<p>病棟の開放・閉 鎖形態別の病 棟数、病床数</p>	<p>＜夜間外開放＞＜個別開放＞＜終日閉鎖＞各々の病棟、 病床数（再掲 電話設置病棟数/病床数）</p>	<p>○開放型精神病院数</p>	<p>[精神病院のみ] ○開放型精神病院数</p>		
<p>保護室数、施設 できる部屋に ついて</p>	<p>＜夜間外開放＞＜個別開放＞＜終日閉鎖＞＜モニター 設置の有無別＞＜トイレの有無別＞各々の保護室数、施 錠できる個室数</p>				
<p>保護室の利用 者数</p>	<p>○調査年6月30日現在の保護室の利用者数</p>				
<p>職 員 ・ 入 院 料 等</p>	<p>職員の勤務状 況</p>	<p>○＜医師（内訳 指定医）＞＜作業療法士＞＜PSW＞＜ 臨床心理技術者＞＜看護婦（士）＞＜准看護婦（士）＞ ＜看護補助者＞の常勤・非常勤別の数 （再掲：精神保健福祉士資格者数）</p>	<p>[精神病院のみ] ○10/1 現在の勤務体制別（内 訳：＜看護婦（士）・准看護婦 （士）＞＜看護業務補助者＞） 看護職員数、勤務体制別看護単 位数、＜準夜＞＜深夜＞＜夜勤 ＞別看護職員数</p>	<p>[精神病院のみ] ○常勤医師、非常勤医師、作業 療法士、精神保健福祉士、看護 士、准看護婦、准看護士、看護 業務補助者、保健婦、保健士等 の人数 *臨床心理技術者のデータは ない。</p>	
<p>看護体制等の 取得状況</p>	<p>入院基本1～7、特別入院1,2、特定機能病院基本料、急 性治療1,2、精神療養1,2、老人痴呆、老人療養1,2、老 人性痴呆疾患療養病棟の介護療養型医療施設、非該当・ 不明</p>	<p>[精神病院のみ] ○看護の実施状況、新看護の種 類別病院数</p>			

訪問看護実施件数	○調査前年6月1ヶ月間の訪問看護実施件数	〔精神病院のみ〕 ○調査年9月中の精神科訪問看護・指導実施件数、病院数	
デイケア等実施状況	○＜精神科デイケア＞＜精神科ナイトケア＞＜精神科デイナイトケア＞＜老人性痴呆疾患デイケア＞別病院数 ○デイケア実施病院/デイケア未実施病院の退院患者数/残留患者数/新入院患者数/外来患者数/訪問看護実施件数	〔精神病院のみ〕 ○＜作業療法室＞＜理学療法室＞＜精神科作業療法室＞＜精神科デイケア室又は精神科ナイトケア室＞、＜老人デイケア室＞（専用、共用）を有する病院数	
デイケア等利用外来患者数	○調査前年6月1ヶ月間のデイケア等利用外来患者数	○調査年9月中の取扱患者延数	
在院患者の状況	○調査年6月30日現在の在院患者数	〔精神病院のみ〕 ○調査年9/30現在の在院患者数	○推計在院（新入院に繰越入院を加えたもの）患者数、
患者 疾患名別 在院患者 数	○調査年6月30日現在の疾患名別在院患者数 注：疾患名はF1を除いてICD10による。	〔精神病院のみ〕 傷病分類はICD10による。 ○調査日の傷病分類別推計入院（「在院」）患者数 注：傷病分類は3分類 〔精神病院のみ〕 ○調査日の傷病分類別推計入院（「在院」）患者数 注：傷病分類は8分類	

入院形態 (措置入院等)別在院患者数	○調査年6月30日現在の入院形態別 (<措置入院> <医療保護入院> <任意入院> <その他入院>), 開放・閉鎖形態別 (<夜間外開放> <個別開放> <終日閉鎖>) 在院患者数								
入院形態, 年齢, 在院期間別在院患者数	○調査年6月30日現在の入院形態, 年齢階級, 在院期間, 運営形態別在院患者数 注: 在院期間は<1ヶ月未満> <1ヶ月以上3ヶ月未満> <3ヶ月以上6ヶ月未満> <6ヶ月以上1年未満> <1年以上5年未満> <5年以上10年未満> <10年以上20年未満> <20年以上>別								
疾患名, 年齢階級, 男女別在院患者数	○調査年6月30日現在の疾患名, 年齢階級, 男女, 運営形態別在院患者数 注: 年齢階級の内訳は<20歳未満>, <20歳以上40歳未満>, <40歳以上65歳未満>, <65歳以上>								[精神病床] ○調査日の年齢階級, 男女別推計入院 (「在院」) 患者数 [精神病院のみ] ○調査日の傷病分類, 年齢階級, 男女別推計入院 (「在院」) 患者数 注: 傷病分類は8分類
疾患名, 入院形態, 男女別在院患者数	○調査年6月30日現在の疾患名, 入院形態, 男女, 運営形態別在院患者数								
入院患者の入院後1年間の動態	○調査前年6月1ヶ月間に新たに入院した患者についての調査前年6月から調査年5月までの月別退院患者数 (内訳 <家庭復帰等> <社会復帰施設等> <転院> <死亡>) 及び調査年6月残留患者数								

新入院患者	新入院患者数	○調査前年6月1ヶ月間に新たに入院した患者数		○新入院患者数(月別, 年次) ○一日平均新入院患者数	
	疾患名, 年齢階級別新入院患者数	○調査前年6月1ヶ月間の疾患名, 年齢階級, 運営形態別新入院患者数			
退院患者	疾患名, 入院形態別新入院患者数	○調査前年6月1ヶ月間の疾患名, 入院形態, 運営形態別新入院患者数(精神科延べ人数)			
	退院患者数	○調査前年6月1ヶ月間に退院した患者数		○退院患者数(月別, 年次) ○一日平均退院患者数	○調査月1ヶ月間の推計退院患者数
	疾患名, 年齢階級別退院患者数	○調査前年6月1ヶ月間の疾患名, 年齢階級, 運営形態別退院患者数			[精神病床] ○調査月1ヶ月間の傷病分類別推計退院患者数 ○調査月1ヶ月間の年齢階級, 男女別推計退院患者数 [精神病院のみ] ○調査月1ヶ月間の傷病分類, 年齢階級, 男女別推計入院患者数 注: 傷病分類は8分類